

実践者研修会 in 名古屋「コミュニケーション～基礎編～」に参加して

「コミュニケーション」といっても意味が広く、あいまいです。日々、漠然と、きちんとできているだろうか、雑になっていないだろうか？という不安を感じます。その「コミュニケーション」のスキルを見直し、少しでも磨きたいと思い、研修に参加しました。研修は講師の中川先生はもちろん、目良会長をはじめとする豪華な参加者のもと、少数精鋭での濃密なものとなりました。内容は、自分のゴールをイメージする（vision making）、自分の立ち位置を確認する（人間マトリクス）、ゴールへの行動を促進する方法を知る、自分の強みを知る、承認すること・されることの意味、ソリューションフォーカスでコーチングを体感するというものでした。コミュニケーションの基礎から、コーチングまでと多彩な内容でした。特に印象的だったのが、スキルの構成要素の、ノンテクニカルスキル（社会人基礎力・人間力とでもいいでしょうか）です。スキルというと、教科書や研修で学ぶ専門的知識のような気がしていました。しかし、医療安全・質を考えたとき、緊急時に機能するのは、「意思決定」「チームワーク」「状況把握」といったノンテクニカルスキルであるということを知りました。突発事件は、教科書には載っていないわけですから。なるほど、と何かいろいろなことがすっきりとしました。職場での医療安全もそうですが、災害対策もしかり。普段からのチームワーク、人間力、備えですね。その上に、専門的知識やマニュアルといったものがあるんだなあと思いました。基礎力自己評価シートで、自分の強み・弱みも見直しました。どの職種もそうだと思うのですが、OT は特に自分自身を治療に使うと思います。自分を知ること、日々、自分の幅を広げ、高めていくことの大切を感じました。講義終了後は、茶話会にて率直な意見交換が行われました。各地からのお土産をいただきながら、和やかな時が過ぎました。理事の先生方および初めて会う参加者の方々と顔を合わせてお話しできたのは貴重でした。また、次週からの仕事で生かしたいなあと思いながら帰途につきました。人間力を高めるべく名古屋の夕べを楽しんだのは言うまでもありません。12月のコミュニケーションアドバンスコースも楽しみです。実行委員の方々、素晴らしい研修の企画・実行ありがとうございました。

（済生会滋賀県病院 山本尚美）